

平成24年度の主な事業(案)

総合計画に定める多くの施策の実現のために、行政改革などによって生み出した限りある貴重な財源で、防災・福祉・環境・商工・観光・教育など各分野の礎を構築します。

平成24年度に計画している事業・施策(案)のうち、新規・拡大事業を中心に紹介します(年度)：完成予定年度。

安全に安心して暮らせるまち

□新庁舎防災システムの構築

2640万円

新庁舎建設に併せ、災害対策本部の情報処理機能を強化し、迅速かつ円滑な応急対策などの実施を図ります。(平成25年度)

□消防救急デジタル無線の整備

1000万円

平成28年5月31日までに消防救急無線をデジタル化するため、調査に着手します。

□歩いて暮らすまちづくり構想の推進

1246万円

歩いて暮らすことを基本とした健康あふれるまちづくりに市民誰もが参加し、健康に生活を営むことのできる、持続可能な新しい都市モデルを構築します。

□福祉医療費助成に係る中学3年生までの入院自己負担金の無料化

846万円

市独自の事業として各種福祉医療費受給対象者のうち中学生以下の入院医療費の自己負担を無料化します。

□暴力団対策基金の設置

500万円

暴力団追放活動を助成するための基金を設置し、暴力団を排除する市の姿勢を示すとともに、寄付金を募ることを通じて市民に暴力団排除の意識の高揚を図り、安全で安心な地域社会実現を目指します。

□防犯灯のLED化

245万円

市が新規に設置または取り替える防犯灯をLED化します。また、各区が設置する防犯灯の整備補助金の交付対象をLED灯とし、防犯灯にか



▲山陰海岸ジオパークの推進、ジオサイトを有効活用



▲情報戦略の推進(アンテナショップ「コウノトリの恵み 豊岡」)



▲歩いて暮らすまちづくり構想の推進

人と自然が共生するまち

かる環境負荷を低減します。

□土砂災害危険度判定システムの構築

1900万円

土砂災害が予想される場合、ピンポイントで危険箇所を早期に把握し、市民へ精度の高い情報を発信するシステムを構築します。

□豊岡版エコポイント制度の導入

1182万円

環境活動を促進し、経済の域内循環を図り、環境と経済の共鳴を加速させるため、エコポイント制度を導入するとともに、エコハウス補助金を新設します。

□コウノトリ生息地保全対策事業

1500万円

コウノトリの生息地保全を柱にさまざまな団体が連携できる組織づくりや、コウノトリ基金を活用したビオトープ水田の設置・生物モニタリング調査などを展開します。

□ラムサール条約関連事業

455万円

「円山川下流域及び周辺水田」のラムサール条約湿地登録に向けた準備を進めるとともに、登録後は記念行事「ラ

ムサールWeek」を開催するなど、普及啓発や活用を進めます。

□バイオマスタウンの推進

7222万円

市内に存する木質バイオマス(間伐材等)を市内で燃料化(ペレット)し、市内で利用する木質バイオマス活用事業(地域資源循環システム)の実現を目指すとともに、ペレット燃焼灰の利用を促進します。

□大規模太陽光発電所(メガソーラー)の整備

3億3050万円

太陽光による大規模な発電設備を設置し、再生可能エネルギーの地産地消を進めます。また、7月から導入される再生可能エネルギー全量買取制度を活用し、メガソーラー発電による売電収入を、市の環境施策の財源とする仕組みをつくります。

持続可能な「力」を高めるまち

□情報戦略の推進

2165万円

アンテナショップや豊岡エキシビジョンなどにより、国内外に豊岡の情報を戦略的に

発信します。特に首都圏での豊岡の知名度を向上させ、職員意識向上も図ります。

□山陰海岸ジオパークの推進
5974万円

ジオサイトを有効活用するため、ジオガイドの配置やジオツアーバス補助、またジオサイトの安全管理を行います。

□観光事業の推進
1740万円

効果的な広告宣伝や情報発信、首都圏からのツアー実施に対する支援、メディア等へのアプローチなどにより観光誘客の促進・拡大を図ります。

□新規就農総合支援事業
1874万円

青年の就業意欲の喚起と就業後の定着を図るため、青年就農給付金制度を新設します。また、国や県の事業を市単独補助事業で補完する「就業支援対策事業」も実施します。

□コウノトリ育む農法の推進
136万円

コウノトリ育む農法の普及拡大のために栽培技術の向上や実証ほの設置を通して安定的な農業技術の体系化と食味の向上を図ります。

□水産業の振興と漁港の管理

1040万円

地域ブランド「津居山かに」のさらなる高級ブランド化と、竹野漁港施設の改修、田結漁港の漂着ごみ流入防止対策を実施します。

□社会資本整備総合交付金を活用した道路整備
2億400万円

社会資本整備総合交付金を活用して市道4カ所の整備と、城崎地域では、景観に配慮し、無電柱化事業を推進します。

□鉄道交通対策5212万円

山陰本線・播但線高速化に向けた取組みを進め、KTRの企画列車「市民号」への助成、「山陰海岸ジオライナー」などの利用者へ補助を行います。

□公共交通利用促進
1927万円

公共交通を次代に引き継ぐため、公共交通を利用した通勤や「上限200円バス」の社会実験を実施し、バスや鉄道の利用を促進します。

□但馬空港周辺用地の買戻し
18億900万円

空港周辺用地を買い戻し、木質バイオマス活用モデルとして「空港周辺里山ふれあい森」構想に基づく整備に向



▲新庁舎の建築工事・電気設備工事などを実施(新庁舎イメージ図)



▲公共交通の利用促進、「上限200円バス」の社会実験実施



▲観光事業の推進(文庫本ブックバーなどによるイメージ戦略)

けて測量等を行います。

□過疎地域戦略プロジェクトの推進
1億6133万円

地域の特徴を生かした事業を推進し、強力で過疎地域振興を図ります。

未来を拓く人を育むまち

□「小さな世界都市・豊岡」を担う子どもたちを地域で育てる取組み
672万円

豊岡を担う高校生までの子どもたちを地域で育てるため、部活動と文化財のフィールドワークや子ども夏期大学、「夢へ挑戦する高校生」に対する支援などを実施します。

□幼・小・中学校医(耳鼻科医、眼科医)の増員
533万円

豊岡地域以外でも専門医師による眼科・耳鼻科の定期健診を行い、市内全域の健診内容の統一と充実を図ります。

人生を楽しむ お互いを支え合うまち

□城崎温泉アートセンター化構想の策定
325万円

県から移譲を受ける城崎大会議館を、芸術文化の創造拠点として活用する構想を策定します。

□植村直己冒険館の自主事業
431万円

南極昭和基地との交信による授業や基地のライブ映像の放映などを行います。

□ボートイベントの開催
722万円

円山川城崎漕艇場のB級公認コース認定更新を行います。また、全国から選手を迎えてボート大会を開催します。

□文化財保護事業
3724万円

旧中和家住宅の保存管理と国登録申請に向けての調査、足軽住宅(武家長屋資料館)の保存改修を行います。

基本計画の実現に向けて

□議会インターネットライブ中継への取組み
74万円

市民に開かれた議会を目指し、市議会の様子を平成25年6月議会からインターネットライブ中継するためのシステムを整備します。

□新庁舎の建設
51億8553万円

平成25年度のオープンに向け、建築工事、電気設備工事、および機械設備工事を実施します。